

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 3月6日

【評価実施概要】

事業所番号	4270202718		
法人名	社会福祉法人 幼老育成会		
事業所名	グループホーム 花ぞ野		
所在地	〒857-0021長崎県佐世保市折橋町58-1 (電話) 0956-29-3111		
評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年2月26日	評価確定日	平成20年3月14日

【情報提供票より】(H19年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 5 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 10 人, 非常勤 5 人, 常勤換算	14.1 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	3 階建ての	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	3,450 円
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	250 円	昼食 350 円
	夕食	300 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(2 月 1 日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	5 名	要介護2	5 名		
要介護3	3 名	要介護4	5 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.5 歳	最低	66 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	特別医療法人雄博会 千住病院・医療法人光省会 福田外科・花ぞ野診療所
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な新興住宅地の中に一体化するように母体法人施設の中の「特別養護老人ホーム」と廊下で繋がり隣接されている。ホームの構造は1,2階はグループホーム、3階は小規模多機能施設となっている。法人としての理念の下にホーム独自の理念として(always smile いつも笑顔で)を合言葉にして、日々の介護を実践されている。1階と2階にユニットは分かれているが、職員は「ひとつの施設」として捉えられ、綿密な連携が窺える。医療機関との連携も良く取られており、利用者や家族の安心に繋がっている。職員、利用者の穏やかな表情から日々の暮らしを良く支援されているホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	個別記録の改善で、利用者の変化を職員が共有できるように工夫されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員で取り組まれて管理者がまとめられた。各職員においては自己評価のプロセスで日々の介護の振り返りや、介護に携わる者としての自覚を再認識し、自己研鑽や研修の参加の積極性に活かされている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	昨年から2~3ヶ月に1回開催され、家族、地域代表者による活発な意見交換がされている。行政担当者の参加もある。会議で提案された「職員の名前が分かりにくい、道路沿いに案内板の設置は？」などの意見にはすぐ「名札」を付け「顔写真」は検討中で「案内板の設置」については、近日設置予定をされており、提案をサービスの向上に活かす努力をされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	月1回請求書を送付する時に、利用者の近況報告や広報担当者が「花ぞ野便り」を行事などのイベントに合わせて作成し家族へ向けて送付している。家族面会時は金銭出納帳の確認や近況報告を行い、家族の意見や要望に答えている。又家族面会時に担当職員と管理者がゆっくり話しをする時間を設ける等しており、行政や外部の相談窓口があることを説明している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	地域の老人会や住民に向けて、ホーム開催のイベントを知らせて参加の呼びかけをされている。地域住民の参加も増えつつあり、利用者との顔馴染みの関係を構築されている。一人で出歩いている利用者を見かけると、さりげない声掛けなどの見守りをされており、地域との連携が出来ている。

特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構

2. 評価結果(詳細)

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の「Always Smile-いつも笑顔で」を開設当初から掲げられている。地域住民との交流や連携は、グループホームとしてのあり方の中に地域密着型としての意義を理解されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝のミーティング時に理念の唱和をしており、フロア等にもさりげなく「理念」を掲げられ、職員への意識付けをされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の老人会や住民に向けて、ホーム開催のイベントを知らせて参加の呼びかけをされている。地域住民の参加も増えつつあり、利用者と顔馴染みの関係を構築されている。一人で出歩いている利用者を見かけると、さりげない声掛けなどの見守りをされており、地域との連携が出来ている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員が書き上げて提出した。各職員においては、自己評価をする事で、日々の介護の振り返りや、介護に携わる者としての再認識や研修への参加意欲を向上させることに活かされている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年から2～3ヶ月に1回開催され、家族や地域代表者による活発な意見交換をされている。行政担当者も参加されている。会議で提案された「職員の名前が分かりにくい、案内板の設置は？」などの意見には[名札]を付け、顔写真は検討中で、案内板は近日設置予定をされており、提案などをサービスの向上に活かされている。		

グループホーム 花ぞ野

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議への市町村担当者が毎回参加されており、指導や相談等ができる状態になっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族面会時は金銭出納簿の確認や近況報告を行い、遠方の家族には、毎月、金銭出納簿のコピーなど請求書と共に送付されている。面会家族と担当職員や管理者がゆっくり話す機会を設けている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの苦情等はないが、行政や外部の相談窓口がある事を説明している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内の異動はあるが1年1回程度で、顔なじみの関係を持って交替されている。法人内の異動が多く介護現場で経験を積んでこられる事が多い為か、新しい職員へ馴染まれる時間が早い。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修会は定期的開催されている。外部研修は1年に1回～2回程度出勤日として取り扱い、交通費等も法人負担で参加されている。自分の休みを利用して研修へ参加する姿勢が各職員に見受けられる。	○	法人外への研修参加を更に増やす事で、法人外のグループホーム職員と交流を持つ機会を得られ、サービスのレベルアップに繋がる事を検討して行かれる事に期待したい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は法人外の関連機関と交流し、市内の連絡協議会などに参加され、サービスの向上に努めている。		

グループホーム 花ぞ野

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族間の交流や地域行事参加等で、ホーム内見学希望者が増加している。利用希望者には【体験利用】の受け付けへの対応もされており、時間をかけて馴染まれていくことに留意されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者の尊厳を意識しながら介護に当たられており、人間的な交流を心掛けられている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者と共に暮らす時間をなるべく多く持ち、利用者の表情や動作で何をしたいのかを把握し、さりげない援助をされている。意思疎通の困難な利用者に対しては特に表情などで気持ちを汲み取る努力をされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>2ユニットだが職員の行き来は多く、情報の把握が出来る。担当外の職員の気付きを伝えることで常に意見交換を行い、介護計画に活かされている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎月、介護計画の見直しをされている。1ヶ月以内の状況変化時は早急な見直しが出来ており、現状に即した計画の作成ができています。</p>		

グループホーム 花ぞ野

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 of 要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の病院受診や外出時など、送迎の支援が行われている。『主人公の日』を設けて、お墓参りや外食など利用者の希望に応じて対応されている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅時からのかかりつけ病院への受診支援をされている。職員が付き添う為、情報交換や、受診に関する報告、連絡、相談等、家族や法人内の診療所との連携確保に努められている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早期の家族と本人の意思確認をしている。重度化に伴う家族や本人の考え方の変化の確認を随時されており、容態変化時に職員や医師、看護師間で情報を共有されて対応に当たられている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の尊厳を意識しながら介護の実践をされている。職員が意識せずに掛けた言葉に利用者が不満を言われなくても「気分を損なう言葉かけ」に他の職員が気付くと、すぐに注意や介護の振り返り、マンネリ化防止に努められている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の業務の流れに利用者を合わせる事がないように、最大限の努力をするように職員全員が心掛けられている。		

グループホーム 花ぞ野

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	手伝いができる利用者には状況に合わせて職員と共に準備、後片付けなどをされている。職員が同じものを食べて、食事介助が必要な方には付き添って介助をされていた。職員が多い時は、利用者と共に同じ食事をすることを検討されている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴に対応できている。拒否がある利用者には時間を変えて柔軟な対応ができるように支援をされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴を活用した「裁縫、食事の工夫」などの役割を作り、自力での外出が困難な利用者には「車椅子散歩、ドライブに行く」など楽しみ事や気晴らしの支援をされている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	歩行ができる利用者とは食材の買出し同行をしてもらい、歩行ができない利用者には「外気浴」を体調や気分に合わせて行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	帰宅願望がある利用者へは、外に向けた気持ちを他に向けるなど工夫し、どうしても外出される時は、職員がそっと付いて行くなど、安全確保に留意されている。又、夜間以外は施錠をせず、ドアベルで出入りを確認している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災訓練などを通して、避難経路の確認や消火器類の確認は日常的に行われている。夜間想定で避難訓練などを年2回行い、それ以外に消防署立会いの火災訓練をされている。スプリンクラーなども設置済みで防火についての対策はできている。	○	火災以外の自然災害時の備蓄や地域住民との連携を図るなど今後の検討課題として取り組まれることに期待したい。

グループホーム 花ぞ野

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人内の栄養士に献立表をチェックしてもらい、栄養バランスに配慮した食事作りを工夫されている。水分チェックは、必ず行い不足気味の利用者には、薄いジュースを使う等、好みを取り入れて水分摂取に心掛けられている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	訪問時は「雛人形」の飾り付けがされていた。広報で「使わなくなった雛人形を譲ってください」の呼びかけに予想を上回る数が集まりホームの各所に飾り付けがされていた。共用空間は季節感を持つ花を生けてあり、室温調整なども細かい配慮がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内には使い慣れた家具を持ち込まれており、個性が分かる居心地の良い部屋の工夫がされている。		